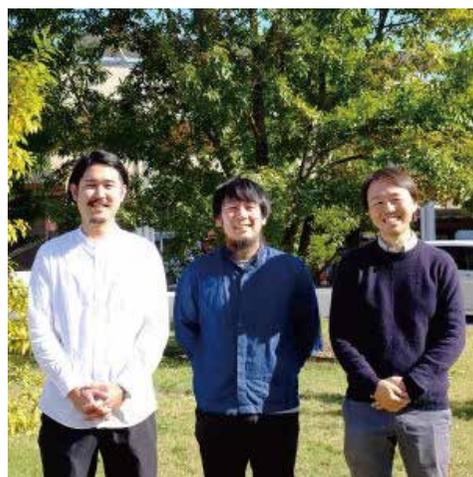


地域愛を育む
埼玉県北本市のシティプロモーションと
団地活性化の取組について

合同会社 暮らしの編集室

合同会社 暮らしの編集室
〒364-0031
北本市中央1-109-105
岡野高志 (090-5406-1119)
kitamotokurashi@gmail.com

暮らしの編集室について - a b o u t - 未来に向けてまちに新たなサイクルを生み出す



デザインのカで

まちに新たなサイクルを創り出す

暮らしの編集室は埼玉県北本市を拠点に、新しいまちの可能性を生み出す「まちづくりのチーム」です。暮らしを見つめ直し、人と場所をつなぎ合わせ、まちに新たなサイクルをつくりまします。ひとりひとりの暮らしから、「わくわく」して「自立的」な、まちの未来を作っていきます。

社名 合同会社 暮らしの編集室

所在地 埼玉県北本市本町1 - 109

連絡先 kitamotokurashi@gmail.com

役員

代表社員 岡野高志(北本市観光協会)

業務執行社員

江澤勇介(カメラマン、ディレクション)

若山範一(建築・店舗設計デザイン)

設立年 2020年

事業内容

広報プロモーション/シェアキッチン等スペース

運営/エリアリサーチやまちづくり事業/不動産

活用事業

暮らしの編集室について -project 空き家空き店舗を地域の顔へ-



地域を諦めないために。郊外団地商店街に、子供たちや若者が活躍できる居場所を作りたい。
 (地元若者が挑む 全国初 住宅付店舗のMUJI×URによる地域活性化事業)

カテゴリ: まちづくり



ツイート UTM シェア

寄付金額 **2,004,000円**

100.2%

目標金額: 2,000,000円

達成率	支援人数	終了まで
100.2%	124人	受付終了

📍 埼玉県北本市 (さいたまけん またもとし)

♡ お気に入り

このプロジェクトは終了しました

▶ 対応している決済方法
 ▶ お問い合わせ先

《空き家・空き店舗を活用した拠点施設創出》

暮らしの編集室では、北本市中心市街地活性化を目的に、2019年より北本市役所の近くで、シェアキッチン「ケルン」を運営しています。シェアキッチンを利用した、新規創業者のお試し出店の場になるだけでなく、エリアマップの発行やイベント開催など、既存店と連携した市内回遊性を高める事業を行っています。また、北本市内で2か所目の拠点施設となるシェアハウス & シェアキッチン北本団地『中庭』を2021年6月にオープンし、様々な地域活性化プロジェクトを行っています。

暮らしの編集室について -project まちに持続的な生態系サイクルを創り出す-

北本市役所でのマーケットのイベント「みどりといち」



創業支援トークプログラム「みせとかまちとか」



まちに共通言語をつくりだす「きたもと未来会議」



マーケットを通して考える地域の可能性「マーケットの学校」



きたもとで考えたマーケットのある暮らしの可能性

暮らしの編集室について -project キーワードは『地元愛を育む』-



《地域への愛着を育むシティプロモーション》
暮らしの編集室では、2019年度より北本市様と北本市観光協会様と共に、北本市への愛着を高め移住・定住を促進する、様々なシティプロモーション事業に取り組んでいます。シティプロモーション冊子作成やWEBサイト制作に加え、新規創業者と空き店舗をマッチングする、不動産物件サイトの運営や、北本市シティプロモーションコンセプト「&green」を体現する地場産カフェ「&greenCAFE」のプロデュースを手掛けています。

シティプロモーションコンセプト

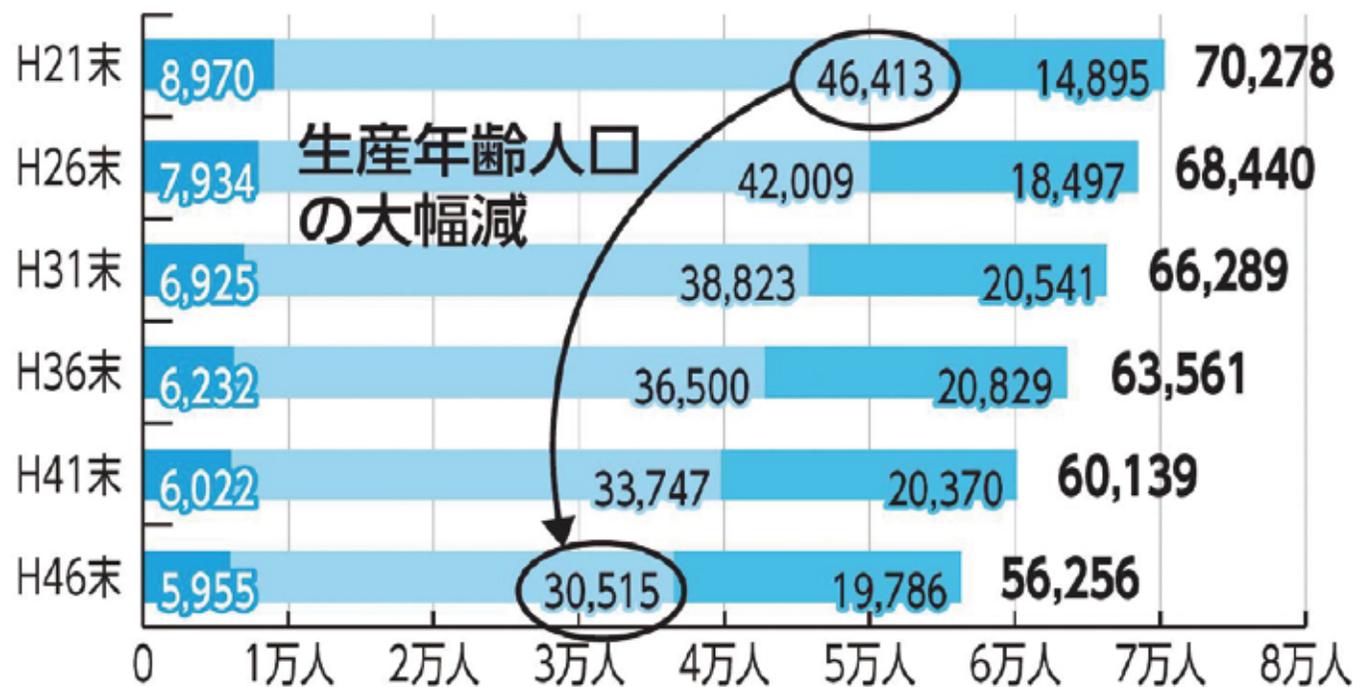


豊かな緑に囲まれた、
ゆったりとした街の中で、
あなたらしい暮らしを。

シティプロモーション必要性の背景

人口の推移・推計

■ 0~14歳 ■ 15~64歳 ■ 65歳以上



シティプロモーション必要性の背景

20代～40代前半

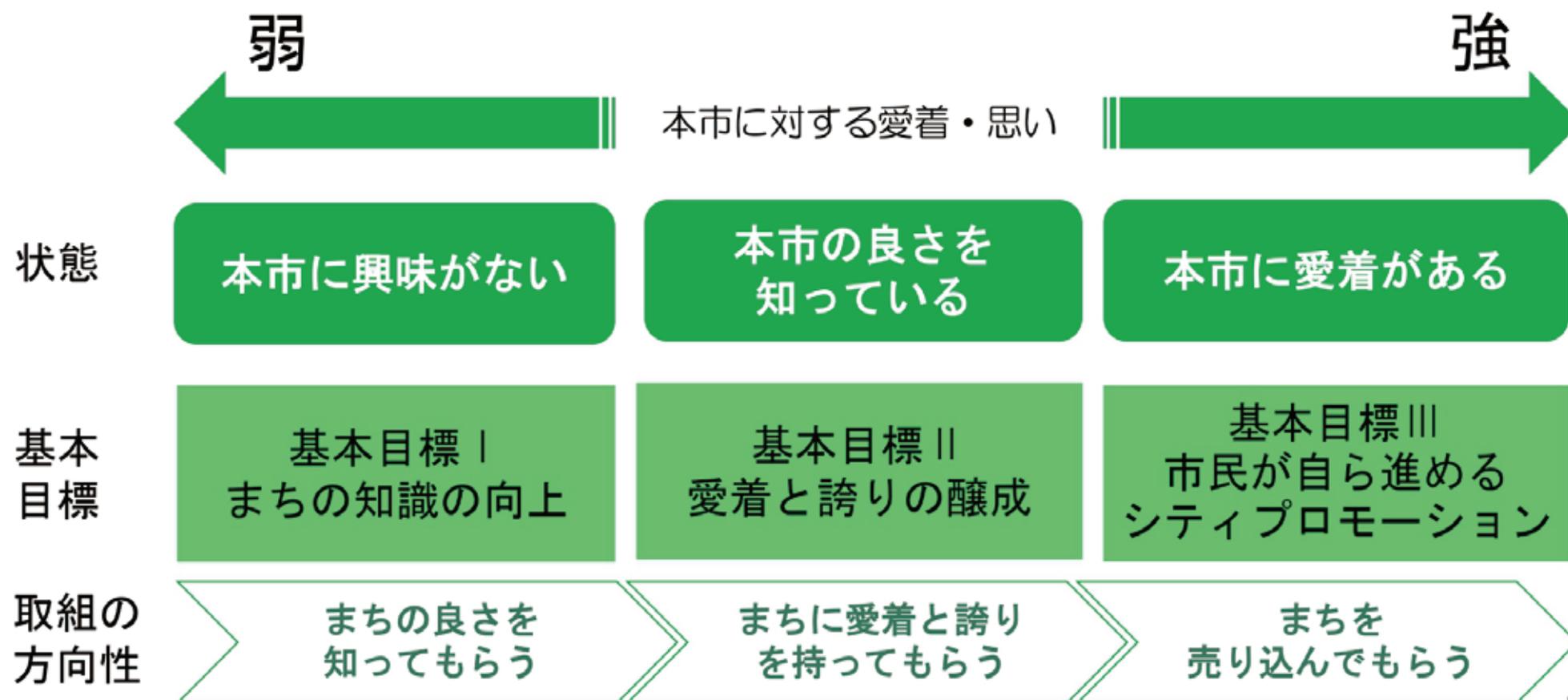
転入

70%

転出

75%

プロモーションの主な対象は市民



北本市のシティプロモーションについて



NEXT商店街 (暮らしの編集室)

- ◇中心市街地活性化 ◇新しい商店街
- ◇小さな繋がり ◇物件の掘り起こし
- ◇店舗付き住居、仕事と暮らしの関係
- ◇買い支え、地域との関わり
- ◇中間的な領域の価値創造
- ◇公共空間利活用 ◇エリアブランディング

- ・市役所マーケットイベント「みどりといち」
- ・きたもと未来会議
- ・物件、移住ツアー
- ・ケルンの運営
- ・空き家、空き店舗リサーチ

北本市観光協会

- ◇暮らしと場の習慣を観光に
- ◇雑木林、荒川自然フィールドの活用
- ◇体験の提供 ◇市民参加
- ◇地域情報の発掘・可視化

- ・森めぐり、収穫祭 ・かんちゃわナイト
- ・&greenCAFE運営 ・北本トマトカレー
- ・森林セラピー
- ・地域資源活用イベント
(古来種野菜をさがすWS等)

シティプロモーション

- ◇市民の地域推奨・参加・感謝意欲向上
- ◇緑と余白の活用
- ◇緑と暮らす豊かさの提示
- ◇やりたいことをやれるまち
- ◇考え続けるまち

- ・きたもと暮らし研究会
- ・マーケットの学校、
&greenmarket月いち開催
- ・プロモーション冊子、WEB、動画作成
- ・&greenファンクラブ
- ・あなたのやりたいことを応援 &greenプロジェクト
- ・暮らし体験ツアー
- ・モンベル包括協定
- ・地域商社・まちづく設立検討
- ・地場産ECサイト及び域内配送システム構築

北本市でつくる

&green サイクル

ふるさと納税

- ◇市財政健全化 ◇市内産品の価値向上
- ◇市内事業者応援 ◇まちのイメージ向上

- ・ふるさと納税コンサルティング
- ・楽器寄附ふるさと納税
- ・GCF
(ふるさと納税型クラウドファンディング)
- ・寄附の使い道検討 (&greenに資する事業)
- ・特設サイト構築

環境省

- ◇脱炭素社会 ◇SDGs
- ◇縄文文化の見直し
- ◇互恵・シェアの概念
- ◇所有・消費の概念変化

- ・Eサイクル
(太陽光発電モビリティ)
- ・シェアサイクル
- ・地域循環共生圏推進会合
- ・平地林、地域林の価値化
- ・緑に関する基金創設
- ・縄文マーケット、シンポジウム
- ・各事業のカーボン低減試算

北本農産物ブランド

- ◇地産地消
- ◇市内農産物の価値向上
- ◇販路拡大 ◇イメージ向上
- ◇商品開発
- ◇生産者の顔が見えるように

- ・農産物ブランド認定 (&green food)
- ・ブランド会議

作成：北本市市長公室

実施全体イメージ

市制50周年

- ◇北本の未来を考える
- ◇&greenプロモーション
- ◇過去-現在-未来を繋ぐ

- ・&greenフェスティバル
- ・駅&greenジャック
- ・&greenウィーク
- ・トマトカレー10周年記念イベント

北本団地

- ◇公団地域コミュニティの活性化
- ◇商店街活性化 ◇福祉機能向上
- ◇栄小利活用との連携
- ◇生活モデルの構築

- ・URと連携で福祉事業
- ・無印×UR
(商店街住居付き店舗、一般住戸)
- ・暮らしの編集室拠点施設
- ・商店街でのマーケット

「住みたい、住み続けたい」と思われる魅力は

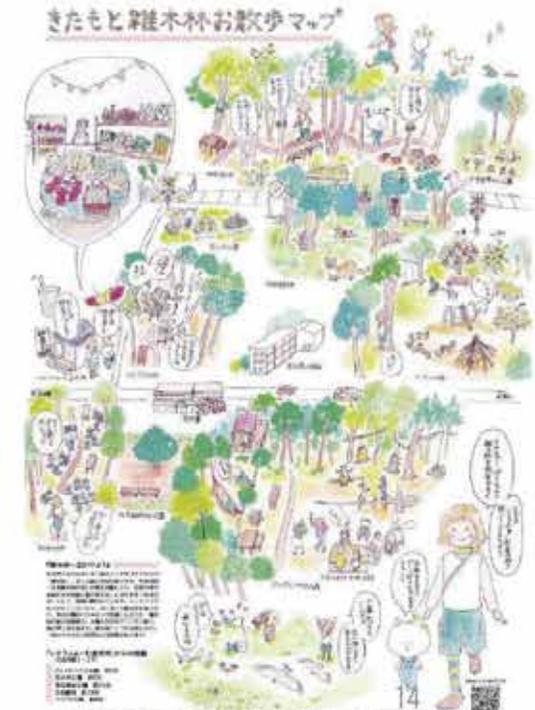


&greenプロジェクト あなたのやってみたいを応援します。



- ・北本発のアウトドアブランドを創設
- ・雑木林マップを作りたい
- ・北本の緑を活かした音楽イベント
- ・石戸城跡地周辺を舞台とした桜の植樹プロジェクト
- ・北本トマトクリーム復刻版の開発販売や、ポンテローザトマトの生産加工販売などを行いたい！

etc



暮らしの魅力を見直し、高める研究会

「きたもと暮らし研究会」



きたもと暮らし研究会 第0回の様子

8/10に開催された「きたもと暮らし研究会」の準備会議には、年齢や市内外在住、職業などに限らず幅広い属性を持つ参加者、約20人が集いました。市内の若者や、子育て中のお母さん、事業者も市議員も一緒に、初めてのメンバーも多い中、普段あまり話をする機会のない隣人との活発な意見交換を楽しみました。一人のアイデアから始まって、二人三人と意見が重なっていくことで、みんなが楽しめるようなプランが次々と生まれていきます。

暮らし研究会の
様子はこちらより
ご覧いただけます。



暮らし研究会、参加者募集

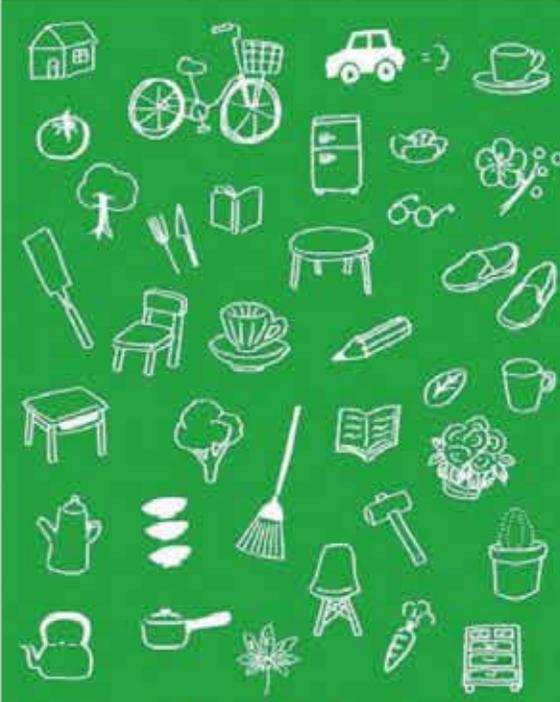
きたもと暮らし研究会は、北本市の北本の魅力を研究するまちづくりのチームです。
北本市・北本市観光協会・ツカノアザラシ・北本市の若手メンバーが中心となって企画・運営を行っています。

- ・北本暮らしを楽しみたい人
- ・北本で何かしてみたい人
- ・北本のことが好きな人
- ・北本のことを考えたい人

みんなはぜひ暮らしの研究会にご参加ください。一緒にきたもとを研究して楽しみを存しましょう。
お申し込みはこちらよりどうぞ



問合せ：北本市観光協会 企画・シティプロモーション担当（TEL.048-611-9110）
※暮らし研究会は定款フリーアソシエーションとなりますが、趣味のある回のご参加だけでも大歓迎です。
参加申込はWEBサイト、または北本市観光協会企画・シティプロモーション担当へのお電話からどうぞ。



きたもと暮らし研究会

広報 北本市

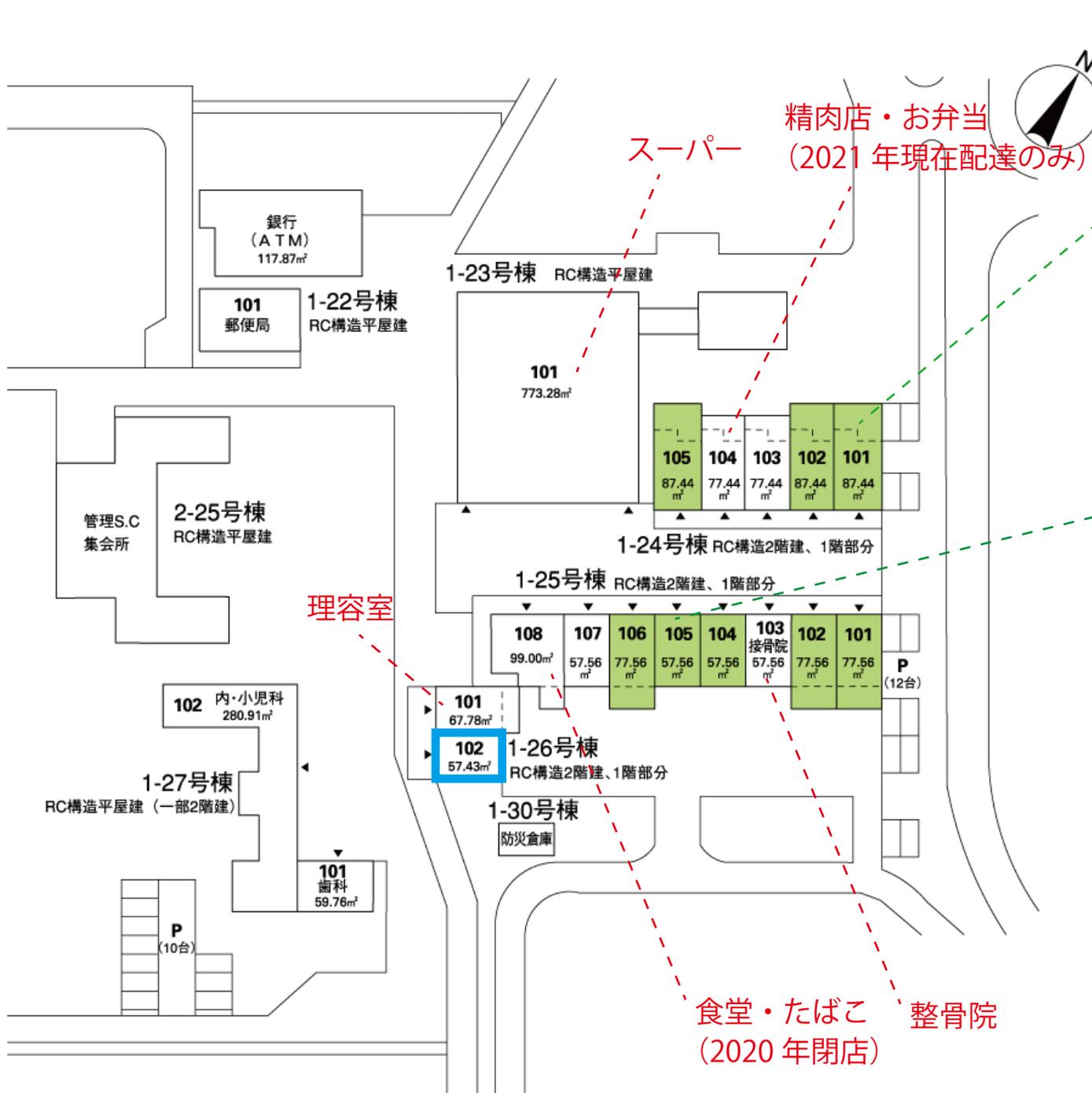
「市内プロジェクトチーム」



北本団地活性化プロジェクト - 北本団地の概要 -



北本団地活性化プロジェクト - 北本団地の概要 -



募集業種	物販業、飲食業、サービス業 子育て・高齢者支援事業
床面積	87.44m ²
賃貸料	90,720 円/月 (税込、店舗部分のみ)
共益費	5,400 円/月
敷金	544,320 円
契約条件等	チャレンジ / 定期借家 / 5 年間

募集業種	物販業、飲食業、サービス業 子育て・高齢者支援事業
床面積	57.56m ²
賃貸料	59,616 円/月 (税込、店舗部分のみ)
共益費	2,700 円/月
敷金	357,696 円
契約条件等	チャレンジ / 定期借家 / 5 年間



北本団地活性化プロジェクト - 事業構築のポイント

《団地商店街店舗を拠点施設として活用》

社会教育体験としてイベントの
開催や店舗部分のマネジメント
に関わる

①団地の魅力を発見するWSの開催
(年2回程度)

②空き店舗を活用したマーケットや
イベントの開催

2階住居

30代以下の若者を想定したシェアハウス

1階店舗

店舗兼コミュニティスペースの運営

コンテンツ① 「スタジオ (写真館・コミュニティスペース)」

コンテンツ② 「駄菓子屋的な小商い」

コンテンツ③ 「コミュニティキッチン (レンタルキッチン)」

ポイント①

地元 × よそ者 × 若者

まちづくりには「よそ者・若者・ばか者」の3つが必要だと言われます。これは住んでいる人ではわからなかった地元の魅力を、よそ者がきっかけとなり発見し、若者らしい行動力でそれらの魅力を更に高めるプロジェクトを行い、その思いに地元の人がどれだけ協力できるかが、まちづくりにとって重要であるからです。本事業でも、大学生や過去に住んでいた人が、団地に実際に住むことや、継続的に関わりあう仕組みを作ることがポイントだと考えます。

ポイント②

マネジメントのチームを作る

従来のコミュニティスペースでは、資金的な継続性の難しさや、メンバー・利用団体・利用方法の固定化により、スペースとしてうまく機能しない場合があります。本事業では、様々な関係者がパートナーとなるマネジメントチームを作ること、パートナーチームの関係者が、その専門性を発揮し、多様性のあるコミュニティマネジメントと資金的なマネジメントを両立させることを目指します。これは、北本団地に継続的に関わる組織を作るうえでの重要なポイントだと考えます。

ポイント③

わざわざ団地に来る理由を作る

「地元に対する愛着」は一般的に「人とのつながり (コミュニティ)」「地域事業への参加・参画」「外的評価」の要素が合わさりあって生まれます。従来の地域活動では、コミュニティや地域活動への参加は可能でも、外的評価の伴う地域の誇りは生まれません。本事業では、あえて、地域外の人がわざわざ来る「ワークショップ」「マーケットイベント」など行うことで、団地だからできる魅力的なコンテンツ作りと、来訪機会の創出がポイントだと考えます。

北本団地活性化プロジェクト - 事業概要 -

北本市
kitamoto city

—— 共に、ルネッサンス ——

UR 都市機構

令和2（2020）年11月30日
北本市
独立行政法人都市再生機構
東日本賃貸住宅本部

北本市とUR都市機構との連携協定に基づき、まちづくりを推進
～全国初 住宅付店舗のMUJI×UR～
～北本団地の地域医療福祉拠点化着手～

北本市と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）は、令和2年3月26日に締結したまちづくりに関する連携協定に基づき、この度、以下2つの取り組みについて連携しながら推進することとなりました。

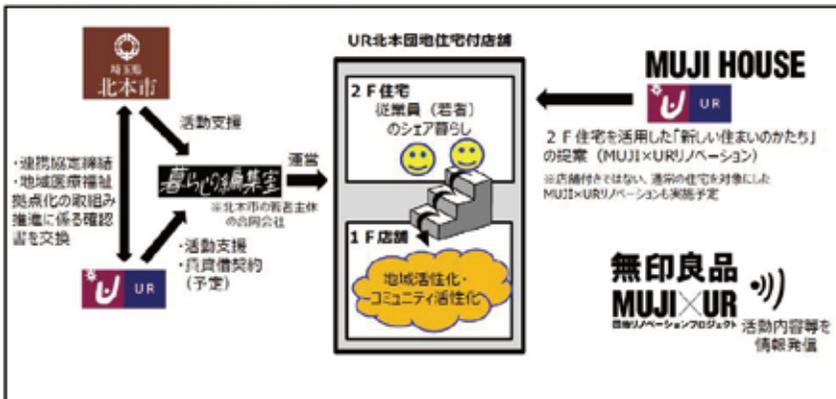
○全国初 住宅付店舗のMUJI×URによる地域活性化

北本団地において以下連携図のとおり、北本市・暮らしの編集室・良品計画・MUJIHOUSE・UR都市機構の5者の連携により、住宅付店舗（1F店舗、2F住宅）を活用した地域活性化を図っていきます。

この取り組みでは、2F住宅をシェアして暮らす若者が、1階店舗で地域活性化のための多様な活動（レンタルキッチンを活用したカフェ、北本団地の50年の歴史を振り返る写真展等を検討中）を行います。住宅付店舗は暮らしの編集室が運営し、店舗は令和3年3月にオープンを予定しています。

今回の住宅付店舗のリノベーションについては、住宅を対象にしたMUJI×UR団地リノベーション（※別添参照）を数多く実施してきたUR都市機構とMUJIHOUSEが、北本市からの要請に基づき、全国で初めて実施します。

北本団地活性化にかかる関係者との連携図



○地域医療福祉拠点化着手

北本団地において「多様な世代に対応した居住環境の整備及びミクストコミュニティ形成の推進」に向け、今年9月から北本団地の地域医療福祉拠点化（※）に着手しました。まずは地域関係者の方々と意見交換をするなかで課題認識のあった福祉事業者等の路上駐車を解消するために「医療・介護事業者用駐車スペース」の設置を行ったところです。

※地域医療福祉拠点化とは？

URでは、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち“ミクストコミュニティ”の実現を目指し、UR賃貸住宅において「地域医療福祉拠点化」を推進しています。地方公共団体や自治会等の地域関係者と連携し以下の3つの内容を総合的に実施しています。

- ①地域における医療福祉施設等の充実の推進
- ②高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進
- ③若者世帯・子育て世帯等を含むコミュニティ形成の推進

団地を資源に、まちに必要なウェルフェアを
団地の地域医療福祉拠点化



詳しくは、<https://www.ur-net.go.jp/welfare/kyoten/index.html> をご覧ください。

北本市の若者主体の合同会社である暮らしの編集室では、北本団地のオープンスペースを活用したキッチンカーでのカフェ等を計画しており、今後も、地域交流の場づくりや、北本団地商店街のアーケード等を活用した団地活性化など、連携協定に基づき地域関係者の方々と連携して取り組むとともに、様々な形で情報発信していきます。

【お問い合わせ先】

- ◆北本市 市長公室（電話）048-511-9119
- ◆UR都市機構 東日本賃貸住宅本部
埼玉エリア経営部 ストック活用計画課（電話）048-844-2309
総務部 総務課 報道担当（電話）03-5323-2555

北本団地活性化プロジェクト - プロジェクト① 地域を見つめなおす -

《北本団地未来会議》



テーマ「教えて！団地のいいところ。」

「北本団地ってどんな場所？」そう聞かれたらあなたは何かを答えますか？そんな質問を入り口に、団地の未来を考え、みんなで話し合ってみる「北本団地未来会議」が開催されます。第一回のテーマは「教えて！団地のいいところ」。今、団地に住んでいる人が団地への愛を語るのはもちろん、昔住んでいた人が知っているいいところ、住んでいない人から見た団地の魅力など、みんなで団地のいいところ、好きなところを話し合います。団地の素敵なるところを、皆と一緒に見つけていきたいと思ひます。



《こんな人はぜひ参加して！》

- ① 北本団地が好きの人
- ② 昔北本団地に住んでいた人
- ③ 何かやりたい人、誰かの気持ちを応援したい人
- ④ 団地でお店を始めたいと思っている人 など



主催 **暮らしの編集室** とは
20-30代を中心とした北本出身の若者が活動するまちづくりのチームです。北本団地出身の者も多く、今回は思い入れのある北本団地、商店街で何か出来ることはないだろうか活動をはじめました。

《申込》メール又はWEBサイトよりお申込下さい。(各回要申込、先着順)

kitamotokurashi@gmail.com メールの方は、件名に「きたもと未来会議2020参加申込」

本文に「お名前(所属名)・住所・お電話番号・参加人数」をご記入の上、お送りください。

WEBサイト[<http://kitamotokurashi.com/2020/12/18/danchimirai2020/>] 右のQRコードからどうぞ



第1回北本団地未来会議

2021年1月17日(日) 11時~12時30分

場所：北本団地集会室 定員：30名(事前予約制)

主催・問合せ 暮らしの編集室団地PJチーム kitamotokurashi@gmail.com (担当：吉川・南野) 協力：北本団地自治会、北本市

《団地のアルバムプロジェクト》



北本団地活性化プロジェクト - プロジェクト② 北本団地シェアキッチン中庭 -

ふるさとチョイス
ガバメントクラウドファンディング®

プロジェクトをさがす



応募寄付総額 10,321,748,838 円

ふるさと納税ガイド



お気に入り



寄付する

プロジェクトをさがす

応援メッセージ

GCF®とは

ふるさとチョイス

災害支援

TOP > 過去実績 > 地域を諦めないために。郊外団地商店街に、子供たちや若者が活躍できる居場所を作りたい。(地元若者が挑む 全国初 住宅付店舗のMUJI×URに…)

地域を諦めないために。郊外団地商店街に、子供たちや若者が活躍できる居場所を作りたい。 (地元若者が挑む 全国初 住宅付店舗のMUJI×URによる地域活性化事業)

カテゴリー: まちづくり

達成!



寄付金額

2,004,000円

100.2%

目標金額: 2,000,000円

達成率
100.2%

支援人数
124人

終了まで
受付終了



埼玉県北本市 (さいたまけん きたもとし)

北本団地『中庭』

誰でも使える、何でも出来る
暮らしをつくる
暮らしを楽しむ

北本団地 中庭は、暮らしを楽しむレンタルキッチンです。キッチンや客席をレンタルして、お店やコミュニティ活動の場として利用することが出来ます。どんな利用でもまずはご相談下さい。



レンタル会費

1日 3000円から

問い合わせ

合同会社 暮らしの編集室

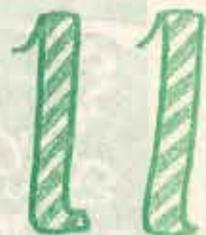
岡野 090-5406-1119or ジャズ喫茶中庭迄

北本市栄7 1-26-102/Instagram@nakaniwa_danchi



北本団地活性化プロジェクト - プロジェクト② 北本団地シェアキッチン中庭 -

(簡易版)



北本団地 11月の中庭

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3 (祝)	4	5 酒場 (夕方)	6 4時~7時 7時~11時 10時~11時 テイクアウト (15時~)	7
8	9 ライブ (18時~)	10	11	12	13 (きょうりゅう) くまざん ライブ (11時~)	14 ライブ (15時~)
15	16	17 中庭商店 手土産 (PM)	18 福祉 暮らし (9-13時)	19 18時に 火 (13-17時)	20 ライブ (15時~)	21 ご録音 (12-14時)
22	23 (祝)	24	25 酒場 (夕方)	26 酒場 (夕方)	27 ライブ (15時~)	28 キッチンまる
29 やさしい フリマ (15-19時)	30					

- 11/6 (土) 15時~夕暮れくらい (2set) / 室内席 1500円。立ち見 投げ入れ制 (+ドリンクオーダー)
「Jazz & Bossa DUO」
伊勢秀一郎 (トランペット)、岩見淳三 (ギター)
 - 11/9 (火) 18時~19時くらい / ドネーション (投げ銭) 制 + ドリンクオーダー
「Androgynous Ensemble」
佐藤恭子 (サクソ)、古谷淳 (ピアノ)、落合康介 (ベース)、大村亘 (ドラムス)
 - 11/14 (土) 15時~夕暮れくらい / 鑑賞料 1500円。立ち見 投げ入れ制 (+ドリンクオーダー)
「桜井郁雄4」
桜井郁雄 (ベース)、福本陽子 (サクソ)、清水絵里子 (ピアノ)、藤井信雄 (ドラムス)
 - 11/20 (土) 15時~夕暮れくらい / 鑑賞料 1500円。立ち見 投げ入れ制 (+ドリンクオーダー)
「triskela」
Luna (ボーカル)、宮野裕司 (サクソ)、落合康介 (ベース)
 - 11/23 (火・祝) 15時~夕暮れくらい / 鑑賞料 2000円 + ドリンクオーダー
「The bass collective」
田嶋真佐雄 (コントラバス)
田辺和弘 (コントラバス)
瀬尾高志 (コントラバス)
 - 11/27 (土) 15時~夕暮れくらい / 鑑賞料 1500円。立ち見 投げ入れ制 (+ドリンクオーダー)
「今日この頃」
細川麻実子 (ダンス)
山崎直人 (パーカッション)
落合康介 (ベース)
- 【その他いろいろ】
- 6日 (土) 「ねぶた祭りの絵付け」 10時~11時半
 - 13日 (土) 「くるりんマーケット」 (11時半~ / 12時半~ / 13時半~, 各回10名 要予約)
 - 17日 (水) 「中庭商店・寺子屋」 午後
 - 18日 (木) 「福祉と暮らしラボ」 9時~13時
 - 21日 (日) 「ご録音」 12時~18時
 - 29日 (月) 「やさしいフリマ」 15時~19時
 - 28日 (日) 「キッチンまる」

※ スケジュールは変更する場合がございます。
SNS、店頭でご確認ください。
よろしくおねがいします ♪

おしゃべり処

お茶会in中庭



誰もがフラッと寄れる“場”として北本団地商店街「中庭」にて定期的に開催



日時

R3年10月14日 (木)
10:00~12:30

販売

コーヒー 200円
(パンまたは花と購入すると50円引き)
パン 120円~



場所

北本市栄7-1-26-102

特別企画

無料

理学療法士による
カラダ相談

治療やリハビリに行くほどではないけど…
・カラダを動かすと痛い
・カラダが動きにくくなった
・家事が大変になってきた
そんな悩みありませんか？

※感染状況により開催を中止・変更する場合がございます。



くりりんcafe

おてつだい & おりがみ作り



11月13日(土)

QRコードから予約をお願いします!!

・11:30から ・12:30から ・13:30から各回10名

くりりんのメンバーやおともだちといっしょにごはんをたべたり
おりがみであそぼうよ！(クリスマスがゴリ作り)



場所：北本団地シェアキッチン「中庭」

「くりりんマーケット」

主催：育児サポーターくりりん

協力：北本市社会福祉協議会



北本団地活性化プロジェクト - プロジェクト② 北本団地シェアキッチン中庭 -



《団地の空き店舗を様々なヒトが集えるコミュニティの拠点に》
北本団地は、今年で築50年を迎える大型団地。高齢化と人口減少が進み、中心部の団地商店街はシャッター街化が進んでいます。そんな現状を何とかしたいと、北本市のまちづくりチームである「暮らしの編集室」では、今年6月に空き店舗を活用して、団地活性化の活動拠点「シェアキッチン中庭」をオープンしました。オープンして半年の間に、2階に住む落合夫妻による、ジャズ喫茶や、毎週のように開催しているライブイベントに加え、様々な活動が生まれています。

- 北本市社会福祉協議さんと連携した「福祉と暮らしラボ」
- 育児サークル「くりりん」さんと連携した「くりりんマーケット」
- 団地在住学生によるかき氷販売やワンデイ CAFE
- 地元農家さんと連携した「中庭八百屋」
- 地元のママさんたちと一緒に作る「藍染体験教室やてづくり教室」
- 障害をもった方も楽しめる自由参加型音楽ライブ などなど



暮らしの編集室



暮らしの編集室 × 3人のものづくり作家 × 北本市
WOOLY • horiee • Katan koton

団地商店街に 人が集まる工作室を！

北本団地商店街の「まちの工作室」に来れば、大人も子供も、友達に会える、友達が出来ると、そんな新しい繋がりを生み出す場所を作りたいと思っていますので、ぜひご協力をお願いします！

私たちは埼玉県北本市にあるシャッター化したしまった団地商店街に、「まちの工作室」を作るために、つくる、ために集まり、また次の、つくる楽しみ、が生まれていく、そんな新しい暮らしのサイクルを生み出し、暮らしと地域の豊かな関係性を作っています。

私たちは埼玉県北本市にあるシャッター化したしまった団地商店街に、「まちの工作室」を作るために、つくる、ために集まり、また次の、つくる楽しみ、が生まれていく、そんな新しい暮らしのサイクルを生み出し、暮らしと地域の豊かな関係性を作っています。

ふるさと納税型クラウドファンディングに挑戦中！
詳しくはこちらをご覧ください！



<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1548>



《シェアメンバーと一緒に多様なコミュニティを生み続ける》
北本団地活性化プロジェクトは、様々な団体の皆さんと一緒に、地元北本団地出身在住のメンバーが中心に活動を行っています。
2021年11月より、もの作りを通じた、新たなコミュニティの拠点づくり「まちの工作室」プロジェクトに挑戦しています。まちの工作室と一緒に作るのは、北本市や近隣でももの作りを行っている作家さん3人です。現在「ふるさと納税型クラウドファンディング」に挑戦していますので、ぜひご覧ください。

▼団地商店街に人が集まる工作室を！北本団地商店街【まちの工作室】プロジェクト

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1548>